

2 年学年便り 第 27 号

吹田市立第二中学校第二学年
平成 27 (2015) 年 1 月 23 日発行

1 / 2 2 (木) 放課後、ガンバ大阪でゴールキーパーをされていた松代直樹さんの講演会がありました。今の2年生にとっても、すごく考えさせられる大切なお話をしていただきましたので、一部を紹介します。



絶対に人のせいにしなない。

「僕がプロスポーツ選手として、絶対に決めていたことは「人のせいにしなない。」ということです。プロになって最初の頃は、うまくいかないことはすべて人のせいにしていました。点をとられたときも自分が悪いのではなく、「ディフェンスがしっかり守らないから」とか「グラウンドがぬかるんでいたから」などまわりのせいにしていました。でもある日、そのことを友だちから指摘されて、すべて自分のせいにするようにしました。そうすると、自分の悪かったことにも色々気づくことができ、どんどん改善されていったんです。君たちにもそれはぜひ覚えておいてほしいと思います。」

今、あなたたちは中学生。中学生としての3年間は、大人になるための準備期間であり、なおかつ人生で最も不安定な時期とも言えます。それは、今まで何も疑問に感じなかったことにも、「なんでせなあかんねん?」と思ったり、「自分も〇〇してええやん。」と権利を主張しはじめたり、「自分の居場所はどこだろう?」と考え始める時期だからです。小学生の頃は「俺はイチローになる。」と言っていたのが、「厳しいかな。」と理想と現実のギャップに悩んだりし始めます。それはまさに君たちが子どもから大人へと成長する階段をのぼっている証拠です。今、先生や親、あるいは友だちに対して、何かとイライラすることがあるかもしれません。それはある意味、正常な現象なのです。

だけど、大事なのは「この状況をどう解決していくか」だよな?そこまで含めて大人になる準備だと思います。

「不満を言っているだけでは何も解決しないな。」「自分の考えだけじゃなく、相手の考えを尊重することも大事だな。」ということについても、気づいていくのです。松代さんの友だちのように、友だちに対してその人のために思っていることをはっきり言ってあげる、これも大切なことかもしれませんね。



「人のせいにするのではなく、自分のせいにしてみる。」

この松代さんの言葉は、何か解決の糸口を示してくれているような気がします。

「ありがとう」の気持ちを大切に。

「僕は父親に「ありがとう」の気持ちを伝えることができずに、父親は天国に行きました。もう父親に直接この気持ちを伝えることはできないことはわかっていたけど、天皇杯の決勝戦の前、天国の父親に「ありがとう」と伝えたくてメールを打ちました。君たちは普段からお世話になっている人に「ありがとう。」って言葉を伝えていますか?お弁当を作ってくれた親に対して、勉強を教えてくれた先生に対して、悩みを聞いてくれた友だちに対してなど、「ありがとう」の気持ちを伝えることを大切にしてほしいと思います。」

みんなは周りのすべての人に対して、この気持ちを大切にできているかな?

叱ってくれる親は、きっと君たちのことが心配だから叱ってくれています。無関心なら放っておくはず。朝、起こされて、「うっとおしいなあ。」じゃなくて「起こしてくれてありがとう。」って思うようにしたらどうだろう?きっと世の中に「ありがとう」って言われて、いやな思いをする人はいないはず。これも何か今の君たちにヒントを示してくれているような気がします。今、隣にいる人に伝えることはないですか?